

新部署「情報アクセシビリティ推進室」を新設 ～ゼロバリアや情報アクセシビリティ関連の活動をより一層強化へ～

報道関係各位

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は10月1日付
けで、「情報アクセシビリティ推進室」を新設します。

OHKは約30年間継続している放送活動「手話が語る福祉」など一連の情報のバリア
フリー推進活動が評価され、昨年12月、世界中のバリアをなくす取り組みを行っている
団体『ゼロ・プロジェクト』（本部：オーストリア・ウィーン）の国際賞「ゼロ・プロ
ジェクト・アワード2022」を受賞しました。この受賞をきっかけに、OHKでは社
内横断的組織「コンテンツ戦略プロジェクト」を立ち上げ、手話の取り組みだけではなく
情報のバリアフリーやゼロバリアに関する活動を中長期的に取り組んでいく準備を進
めてきました。

今月23日「手話言語の国際デー」では、このプロジェクトチームが中心となり、
OHKが本社・スタジオを置く岡山市中心部を国連や世界ろう連盟のシンボルカラーで
ある青色にライトアップしたり、約100分の手話通訳付きの番組を生放送するなど、
当事者である聴覚障害者や手話通訳者の方々とともに情報バリアフリー化を推進しま
した。

こうした取り組みをさらに本格化させ、一人でも多くの方に正確な情報を届けるため
に、OHKはコンテンツ局内に「情報アクセシビリティ推進室」を新設します。室員は4
人で、推進室長に篠田吉央（コンテンツ局コンテンツ推進部担当部長＜アナウンス室
＞）が就任いたします。

今年5月の障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法施行から
急速に注目される情報のバリアフリー化において、OHKは実践者としてさらなる情報
保障をリードするとともに、ゼロバリアや情報アクセシビリティに関する活動をOHK
のブランド化に役立てながら、持続可能なビジネスモデルの構築をさらに推進してまい
ります。